

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	村上 信親
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3517
<b>事務事業名</b>	4195 水路改修事業											
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
<b>施 策</b>	05012200 農業の活性化											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費										
	<b>事業</b>	030000 水路改修事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
水田から果樹への転換が進んでいるため、果樹の根腐れ防止のため排水の悪い水路の改良を求める陳情や降雨時の浸水地域予防の陳情がきている。このため、水路改修により農業生産基盤の向上と民生の安定を図る。						老朽水路の更新により漏水冠水を改善する。 また、近年のゲリラ豪雨による増水、氾濫等を改善する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
沼目町、塩野町、市道関谷湯河原線水路修繕	市道丹波塚口明塚線側溝改良工事ほか45件 主要施策成果説明書参照
平成26年度 予定	平成27年度 予定
亀倉町、境沢町、高梨町、小河原町、仁礼町側溝改修	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		30,950	10,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		30,950	10,000
人員数(人)	正規職員	0.6	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,114.8	2,057.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,114.8	2,057.4
市民一人当たりの経費		0.7	0.2
総額		35,064.8	12,057.4

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,483	測量委託業務費
15節 工事請負費	28,445	改修・修繕工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	22	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	測量委託業務費
15節 工事請負費	8,500	改修・修繕工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	近年のゲリラ豪雨等による側溝等の増水、氾濫の改善が図られる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	地元の要望等により、緊急性・必要性を考慮し、優先順位に改善。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	現地調査した上で、効率の良い又より経済的な整備に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元からの要望が多く、現場をよく精査したうえ、緊急性の高いところから適正に事業を進めている。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
改修要望が非常に多いことから、計画的に継続実施する。		農業生産基盤の向上を図るために、老朽化水路の改修を進めていく必要がある	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	